

2021～2022年度課題別研修「開発事業における環境社会配慮実務」企画競争に係る質問事項への回答

	該当頁	該当項目	質問	回答
1	P.15	(8)JICA-VANの活用について	2年次において、来日研修時にはJICA-VANが継続して活用できる仕組みでしょうか？	来日、遠隔等研修実施形態に関わらず、2年次においても、事前課題の提出、教材コンテンツ管理、研修員とのコミュニケーション等の場面で継続利用することを予定しています。
2	P.15	(12)2022年度研修	研修日程につきまして、「10日間程度の遠隔研修と8日程度の来日研修」の記載はいずれも土日休日を含まないという理解でよろしいでしょうか？	来日研修において、宿泊を伴う研修旅行を組み込んだ結果、土日休日が移動日になることは想定できますが、技術研修日数には土日休日を含まず、プログラム策定をしてください。
3	P.16	6. 業務の内容 (1)研修運営全般に関する事項 ④研修監理員との連絡・調整	研修監理員の方の役割につきまして、遠隔研修および来日研修ともに通訳のみという理解になりますでしょうか？ 具体的には： (ア)遠隔研修時はライブ講義の際には常時参加されるか、動画教材のナレーション吹込みの依頼は可能でしょうか？ (イ)来日研修の際の研修員の方へのロジの案内・貴研修センターでの日常の「ハウスキーピング」的なフォローなどは含まれますでしょうか？	研修監理員は、通訳以外にも言語を使用しながら研修員の理解を促進するとともに、進捗状況を現場で確認する役割も担います。具体的な事例に対する回答は、以下の通りです。 (ア)遠隔研修におけるライブ講義の際は常時参加します。動画教材のナレーション吹込みも、依頼から納品まで十分な日数が確保されており、当該研修監理員の都合が合えば、対応は可能です。 (イ)来日研修時の各種案内も研修監理員の業務に含まれます。「日常のハウスキーピング」が具体的に何を示すかは不明ですが、「研修員への各種伝達および研修関係者間の連絡・報告・調整」、「講義・実習・見学・研修旅行時の引率・同行」も業務内容に含まれます。
4	P.18	7. 業務量および業務従事者 (1)作業人日(目安)	作業人日の積み上げは0.5人日単位という理解でよろしいでしょうか？	作業内容に応じて必要な人日を積算していただきますが、作業人日の最小単位は0.5日と捉えてください。